

# 令和5年度 事業計画書

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大により、シルバー人材センターは、就業機会の減少や、各種イベント等の縮小、延期などにより影響を受けてまいりました。

全国的には、センターの会員数も、令和3年度に落ち込んでいた新規会員数が増加に転じ、受託件数、契約金額でも、回復基調にあるといわれております。

当センターにおきましても、会員数は下げ止まりから増加に転じ、昨年12月末時点で、受託件数はほぼ変わらず、0.1%、7件の減少にとどまり、契約金額では、8.8%、9,600万円余りの増加となっております。感染防止のため、総会や各種会議では、簡素化を図るとともに、各種業務においても感染予防を徹底して行うなど、シルバー事業については、ようやくの回復基調となりました。

令和4年度は、「葛飾区シルバー人材センター基本計画『かつしかシルバービジョン2025』」の第二年度です。令和4年度の目標となる、会員数や就業率、契約金額は、コロナ禍からの回復基調もあり、目標の達成はやや厳しい状況ではありますが、なんとか達成に向けて努めているところです。

令和5年度も、コロナ禍など厳しい社会状況は、引き続き予測されますが、「かつしかシルバービジョン2025」を踏まえて、「会員だれもが健康で、生きがいを創造し、地域に貢献する かつしかシルバー」を目指して、シルバー事業を進めてまいります。

シルバー事業は、地域や発注者の方々にとって欠かせない事業であります。引き続きの新型コロナウイルスの影響などを考慮しつつ、目標を設定し、この実現に向けて事業を行ってまいりますので、会員の方々や関係者皆様方のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

# I 基本目標

「葛飾区シルバー人材センター基本計画 『かつしかシルバービジョン2025』」を踏まえて、令和5年度の基本目標は、次のとおりとします。

- |         |                        |         |
|---------|------------------------|---------|
| 1 会員数   | 2,950人（令和5年3月末見込       | 2,910人） |
|         | 《女性会員の割合 32%（令和5年3月末見込 | 31%）》   |
| 2 契約額   | 15.8億円（令和5年3月末見込       | 15.7億円） |
| 3 年間就業率 | 79.7%（令和5年3月末見込        | 76%）    |

# II 基本計画の推進に向けた令和5年度の取り組み

『かつしかシルバービジョン2025』に掲げる計画の取り組みに基づき、「持続可能な開発目標（SDGs）」の視点も踏まえ、令和5年度は、次の項目に重点的に取り組みます。

## 1 会員の拡充

### (1) PR活動の強化等

- ・PR紙シルバーカラーを全戸配布し区民や事業者に広く周知します。
- ・「産業フェア」など区内各種イベントに参加しPR活動を行います。
- ・ホームページの充実を図ります。

### (2) 参加しやすい入会説明会の開催

- ・引き続き新型コロナウイルスに対応した、少人数、きめ細かな開催をします。また、その感染状況等を踏まえた、開催方法についても検討してまいります。
- ・センター事務局への交通が不便な地区や参加希望者が多い地区などでは、出張説明会を開催します。
- ・インターネットを活用した説明会、仮会員登録を検討します。



### (3) 女性会員の入会や活動の促進

- 女性を対象とした入会説明会を開催し、女性が活躍している仕事の紹介や相談を行い、入会促進を図ります。
- 女性会員向けの多様な職種の就業先の開拓を実施します。
- 女性会員の関心の高い講習会や研修を実施し、知識や技術力の向上を図るとともに、会員同士の情報交換や交流の場とします。

## 2 就業の推進（就業機会の拡大）

### (1) 受注の拡大に向けた活動

- 広報かつしかへの広告掲載やホームページ、FMかつしか等のメディアを活用して、シルバー事業を広く周知します。
- 役員等により発注先を訪問し、ご意見を伺い業務の改善につなげます。
- 就業先拡充委員により、高齢者総合相談センターにおいてシルバー業務の説明や発注拡大の要請を行います。

### (2) 区民に身近な業務の拡大

- 清掃や家事援助サービスなどの体制を整備し、拡大を図ります。
- 身近な作業を支援する「ご近助隊」制度の活用促進を図ります。

### (3) 就業のニーズ把握調査

- 就業のニーズ把握調査を行い、就業の希望職種や頻度などのニーズを適切に把握・分析し、今後の事業活動に役立てていきます。

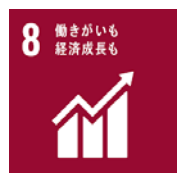
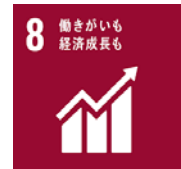
## 3 就業率とシルバー事業の質の向上

### (1) 効率的な就業情報の発信

- 会報誌「なかま」やシルバー情報を活用し、就業情報を発信します。
- 携帯電話のショートメッセージを活用した会員向けの情報提供、情報連絡体制を構築します。
- 会員状況調査を踏まえ、未就業者の就業促進をはかるとともに、就業相談員による予約制の相談日を設け、会員の就業相談に応じます。

### (2) 就業グループの拡充

- 就業グループの人員拡充やグループリーダーの育成を進めます。
- 広報配布の連絡所や就業グループの編成など就業体制の改善を図りま



- す。マンション清掃等の巡回員や業務の複数人体制を整備します。
- ・ 植木剪定や除草、刃物砥ぎなどの後継者の育成強化を進めます。

### (3) 会員研修の充実

- ・ 就業会員を対象に接遇力向上の研修を実施します。
- ・ 健康づくりや防災などの一般教養講座や健康教室などの実施を検討、実施します。
- ・ 東京しごと財団や全国シルバー人材センター事業協会等が開催する講習会や研修会への参加を促し、知識や技能の向上を図ります。

## 4 安全適正就業の推進



### (1) 安全就業の推進

- ・ 「なかま」や「かつしかシルバー情報」、安全啓発チラシ、会員カレンダー等を活用して、安全管理に関する意識啓発を進めます。
- ・ 東京しごと財団の安全講習会や第1地域の安全研究会への参加、他センターへの視察や情報収集等を行い、安全対策の向上を図ります。
- ・ 安全就業強化月間を定め、集中的な巡回・安全行事等を行うことにより、安全就業への意識の向上、安全就業の推進を図ります。

### (2) 健康管理体制の強化と安全意識の向上

- ・ 健康管理意識の向上を図るため、健康診断受診を推奨するとともに、地区毎の体力測定会などを実施します。
- ・ 健康増進につながるウォーキングや体操教室などを実施します。
- ・ 事故防止対策や安全就業基準を踏まえて、就業現場での安全点検や確認などの励行に努めます。
- ・ 交通事故減少を図るため、自転車運転の講習会などを開催します。

### (3) 安全管理部会等の活動強化

- ・ 安全管理部会員等が就業現場を訪問して、巡回指導を行います。
- ・ 事故の発生要因や原因を事故後速やかに調査・分析し、再発防止対策や注意喚起を検討・実施します。
- ・ 職群別グループリーダーへの安全就業対策に関する講習会等を行い、グループ就業会員への安全意識の浸透、向上を図ります。

#### (4) 環境の変化に対応した安全就業の推進

- 引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3密の回避やうがい、手洗いの励行、一定の距離の確保など感染予防対策を、推進していきます。また、その感染状況等を踏まえた、安全就業について検討してまいります。
- 気候変動に伴う夏季の熱中症予防に向けた、安全対策を実施します。

### 5 地域社会への貢献

#### (1) 地域社会への参加

- 地域イベント等の情報把握と参加を進め、地域の賑わいや活性化に貢献できるよう努めていきます。
- 区内駅周辺などでのクリーンキャンペーン等への参加を促進します。

#### (2) ボランティア活動の拡大

- 会報「なかま」やセンターのホームページ、研修会等を通して、会員の地域貢献活動情報や活動メンバーの募集情報を発信します。
- 新入会員研修会などの機会を活用して、活動への関心を高めます。
- ボランティア活動支援制度を活用し、モデル事業を検討します。
- 社会福祉協議会など関係団体と連携し、高齢者施設等でのボランティア活動の拡充を検討します。

### 6 組織運営体制の強化

#### (1) 会員による自主的、主体的な運営体制の強化

- 地区役員やグループリーダー、各種部会員などとしてセンター運営に携わることで、参加意識が高まる組織運営を推進します。
- 研修や文化活動等による会員相互の交流を図り、会員同士のコミュニケーションの活性化や共働・共助の意識醸成を図ります。

#### (2) 組織体制の拡充、強化

- 仕事の迅速、的確な処理と、会員の知識、技能の向上に役立つよう、様々な職群に応じて仕事別グループの編成を進めます。

#### (3) 健全かつ効率的な事業運営

- 情報公開など透明性の確保をはかるとともに、監事や公認会計士によ



る定期的な帳簿管理など、適正な会計・経理処理を進めます。

- 請負や委任契約において、現場確認や契約書の点検などを行い、適正就業に努めていきます。
- 労働者派遣事業については、その実施に向け、検討してまいります。

#### (4) 法令や制度改正等への対応

- 事務局においては、インボイス制度（適格請求書等保存方式）など、法令や制度改正等については、その内容をよく精査・理解し、適切に対応してまいります。
- 令和5年10月に導入予定のインボイス制度（適格請求書等保存方式）については、国等の動向等を把握しつつ、全国シルバー人材センター事業協会、東京しごと財団、各シルバー人材センターとも連携しながら、会員や発注者に周知し、対応してまいります。